



家庭通信 9月号



2026年8月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健便り等もHPでご確認いただけます

今年のはじめから夏にかけて、国内外で多くの自然災害が発生いたしました。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

残暑が厳しい中にも、あちこちで秋の気配が感じられるようになってまいりました。五感からの刺激に敏感な子どもたちは、目から、耳から、そして匂いからその変化に気づき、「あきを見つけたよ」と周囲の大人や友達同士で伝え合う光景が多く見られます。季節の変化を子どもたちと一緒にゆっくりと実感しながら、2学期をスタートしてまいります。1号認定のお子さんたちにとっては長い夏休み明けとなります。夏休みのお土産話に耳を傾けながら、子どもたちの成長を感じていきたいと思っております。今月は各学年で保護者を予定しております。お時間が許す限り、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

「こどもの主体性」

子どもたちと過ごした夏休みを通して、何か新しい発見はありましたでしょうか。旅行中の出来事や、ご家庭以外の場所、ご家族以外の人との関係性の中で、お子さんはどんなことを楽しんでいたでしょうか。子どもが自分で何かを選んだり、やってみたりする「自己決定」の日常が用意されているほど、子どもの脳はフル回転して深い学びに繋がります。言われた通りにできることが良しとされる受け身の学習よりも、自分の意思で動き、創意工夫する学習は、主体的な学びの経験となって、物事の仕組みを理解する力や情報を自分なりに整理してアウトプットする力として伸びていきます。世界的な調査でも、主体的な学びが多い子どもほど、成長したときの認知能力・非認知能力が高まることが明らかになっています。では、園生活ではどのように主体性を大切にしているかという、日常生活の中で自己決定するための「余白」を用意しておくということです。子どもに決定権を渡すと、通常よりも多くの時間が必要になることがほとんどです。そのため、大人側にも余白や気持ちの余裕がないと成立しません。例えば1歳児でも、遊びの中で「どの色にしたい?」「何個ほしい?」「ひとつ?ふたつ?」と選べる日常があることで、自分なりの考えが育ちます。成長の過程で自分の意思を尊重してもらえた子どもたちは、ある一定の時期に達すると、他の子の意見も尊重できるようになります。子どもの主体性は、わがままや自分勝手という意味ではないのです。1学期に園生活の見通しが持てるようになってきた子どもたちは、2学期になり、より安心して主体的に行動できるようになってきます。自分で「やってみたい!」という気持ちが益々大きくなってくる時期です。私たち大人は、その主体的な気持ちを丁寧に受け止め、小さな挑戦を後押ししてまいります。

2学期も保護者の皆さまのご協力をいただきながら、主役である子どもたちの成長を伴走させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【アレルギー食について】

今年3月に発生いたしましたアレルギー食誤食事故の後、園では再発防止に向けた取り組みを徹底してまいりました。7月末にはアレルギー対応を必要とされている保護者の皆さまにお越しいただき、調理および提供の手順についてご確認いただきました。二度とこのような事故を起こさないことをお約束し、今月からアレルギー対応食を再開させていただきます。保護者の皆さまには、大変なご心配をおかけいたしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。大切な皆さまのお子様をお預かりする立場として、常に緊張感を持って日々の保育に取り組んでまいります。何かご心配なことやご質問がございましたら、いつでもお気軽にお聞かせください。

9月のねらい

*3.4.5歳児のねらいは、9月・10月のねらいです。

<年長>

- ・様々な材料や道具を使い、試したり、考えたりしながら作りたい物や場を作る事の面白さや満足感を感じる
- ・自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の話に耳を傾けたりして、自分たちなりに考えたことを進めていくことを楽しむ
- ・いろいろな運動遊びに興味を持ち、存分に身体を動かして遊ぶ面白さを感じる

<年中>

- ・保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ
- ・季節の変化に興味関心を持ち身近な自然に触れる
- ・自分の好きな遊びをする中で友達との関わりを楽しむ
- ・様々な素材に触れながら、自分たちなりに考えたり、友達と力を合わせて作ったりすることを楽しむ

<年少>

- ・自分のやりたい遊びを選んで十分に楽しむ
- ・保育者や友だちと同じ場で遊ぶことを楽しむ
- ・保育者と一緒に体を十分に動かす心地よさを感じる
- ・色々な素材に触れ、自分なりに工夫して作ることを楽しむ

<2歳児>

- ・夏の疲れや体調に留意しながら、一人ひとりの興味ややりたいことに合わせて過ごせるようにする
- ・園庭や散歩に出かけ、体を動かすことを楽しむ

<1歳児><0歳児>

- 0.1歳児は個別のねらいを立てています